

2008年9月

コンゴ民主共和国におけるマラリア予防のプロジェクトに協力

住友化学は、国連児童基金（UNICEF）が実施するコンゴ民主共和国におけるマラリア予防のプロジェクトに協力するため、UNICEF に対し、マラリア予防用に防虫剤を練り込んだ蚊帳「オリセット®ネット」¹ 10,000 張を寄付いたします。

このプロジェクトは、元サッカー選手の中田英寿氏が中心となって立ち上げられた「TAKE ACTION 2008！」キャンペーン²の一環で本年6月に開催された「チャリティーガラ」で得た収益による寄付金(28,955,881円)で実施されるものです。住友化学は、「TAKE ACTION 2008！」キャンペーンに協賛するとともに、今回のコンゴ民主共和国におけるマラリア予防のプロジェクトの趣旨に賛同し、寄付を決定いたしました。

コンゴ民主共和国では年間20万人もの人々がマラリアにより命を落としています。このプロジェクトでは、最も死亡率の高い地域のひとつである、北部キブ州のムトゥアンガで、「TAKE ACTION 2008！」キャンペーンからの寄付金による約36,000張に住友化学の寄付10,000張を加えた、合計約46,000張の「オリセット®ネット」が無償で配布される計画です。

住友化学は、「オリセット®ネット」の生産体制を強化するとともに、関係諸機関との連携も図りながら、今後もマラリア予防の取り組みを積極的に支援してまいります。

1 練り込まれた薬剤が徐々に染み出るため防虫効果が5年以上持続。マラリア防圧のため、世界保健機関（WHO）からも使用が高く推奨されている。

2 環境問題や貧困問題など、現代社会が抱えるさまざまな課題に対して一人ひとりがアクションを起こすきっかけづくりを目的として立ち上げられた。本年6月7日には、世界の共通言語であるサッカーの試合「+1 FOOTBALL MATCH」(プラス・ワン・フットボール・マッチ)が横浜で開催された。

以上